

明治座8月公演『眉山』出演中の卒業生に聞く！

明治座8月公演『眉山』に出演中の卒業生に突撃インタビュー！

ミドルシニア部、青年部を卒業したそれぞれ2名の方に、生の声をお伺いしたいと思います！



1期依田恵理子さん・8期一鷹杏奈さん

青年部からは1期卒業の依田恵理子さん、8期卒業の一鷹杏奈さんにお話をお聞きしました。依田さんは4回目、一鷹さんは初めての明治座出演です。

- 今日では公演中のお忙しい中、ありがとうございます。

早速ですが、出演が決まった時の感想からお聞かせ下さい。

依田 初演(2007年12月)に出演させて頂いたので、また同じ作品に出演できて嬉しいです。あと今回役が増えて、台詞もちょっと増やして頂いたのも嬉しかったです。緊張はありましたが、やる気満々で臨ませて頂きました。

一鷹 最初は阿波踊りの踊り子だとお聞きしていて、次に女子高生役もと言われ、「おおっ」(笑)と思い...不安や緊張もあったけど、凄く嬉しかったですね。

- 稽古場の雰囲気はどうでしたか？

依田 阿波踊りの稽古がすごかった。まず徳島の天水連(てんすいれん)さんの連長さんが来て指導してくださったのですが、ひたすら練習して、足上げとか、リズムの取り方とか。基礎から、姿勢をまず初めに教えて頂いて、全体の稽古のあと、高円寺の吹鼓連(すいこれん)さんにお邪魔して、また稽古をしました。

一鷹 依田さんもだけど、私もいきなり阿波踊りが一番前の列になって、下手だとすごい目立つんですよ。もともと小っちゃいけど、姿勢が良くないと小っちゃく見えちゃうって怒られて。だから頑張りました。

依田 お芝居はレベルの高いところからさらに高くて言う感じだったけど、阿波踊りに関しては、かなり稽古しました。女踊りが一列になるところがあって、何度やっても「綺麗じゃない、迫力がない」って言われて、夜遅くまでずっと自主練しました。阿波踊り部(笑)。

一鷹 紐を持ってみんなで列を揃える練習をしたり、歩幅を大きく出る練習したり。

依田 幕が開いて、お客様の歓声が上がったとき、すごく嬉しくない？

一鷹 あ～嬉しい。やってて自分で鳥肌が立ちます。じわ～って。

- 初日の幕があいた時はどんな気持ちでした？

依田 私は初めて着物への早替えがあって、他の方の早替えも手伝ってるので、自分の段取りがわからなくて。落ち着けばできるけど、最初のシーンが病院の受付役なんですけど、もう気持ち悪くなるくらい緊張して...でも幕が開いた瞬間、お客様が「わぁ～」って拍手があって、それを聞いたらなんだか楽しくなって(笑)、お客様が入ると違うんですね。

一鷹 思っていたよりも笑いとかが、歓声とか、結構あって。女子校生の場面とか、お客様が笑ってくださって。そういうとき、すごい嬉しい。

依田 稽古の時はいつも「こうして、こうして」って言われて。本当にこれでいいのかな？って。ちゃんと演出家の望む演技が出来てるのかなって、毎回成長してるのかなって不安だったんですけど、幕が開いてお客様が反応をしてくださると、大丈夫だって思います。

一鷹 常に面白いものを、リアルなものを求められている。お客様が納得してくれるものを追求するような感じでした。

- 緊張はしないですか？

依田 してるんですけど、それを越えちゃうんです、喜びが。

一鷹 楽しいです。

- 舞台から客席は見えますか？踊っている時の表情にはいろいろ指導を頂いたようですが。

依田 阿波踊りで迫っていく場面とか、本当に客席が近いです。お客様の顔が見えるから、私たちが踊っている時にもちゃんと笑ってないとバレちゃう。稽古の時に「まるで鎌持って八つ墓村の『殺すぞ〜』みたいな顔してる」って(笑)、呪ってるみたいで怖いからって言われて。

一鷹 言われました(笑)

- 家族の方はもう見てくれたましたか？

一鷹 もう、すごく感動して泣いてたみたいです。涙が止まらなかったって。

- 先輩方のお芝居を間近に観ていけるのがですか？

依田・一鷹 常に勉強になります！

依田 本当に「台詞をしゃべっている人」じゃなくて、実際そこに生きている人みたいなんですよね。例えば飲み屋さんのシーンとか。

一鷹 毎回同じ事を淡々と演じるんじゃなくて、本当にみんなで“楽しく飲んでます”みたいな。

依田 演出家の栗山さんもこだわってらっしゃったところなんですけど、凄くわいわい楽しいんでいる感じ。

一鷹 稽古で見ていて後半泣きました。まだ、照明も道具も何も無い状態で泣ける、すごいなあって。

- これから、名古屋、徳島の公演もありますね。

依田 初めての巡業なので、こちらも不安と緊張ありますが、お仕事で地方を回れるのは楽しみです。

一鷹 最初すごく不安だったんですけど、皆さんと仲良くなって、今は行くのが凄く楽しみ。

依田 特に徳島は阿波踊りの本場なので、これまた緊張なんですけど...「違よ」って言われないように。実際にその本場で演じられる、踊れるっていうのは本当に光栄なことなので、しっかり頑張って、楽しんでやっていきたいです。

- 毎日の体調の管理も大変ですね。

一鷹 水分を沢山取って、ストレッチをしています。

依田 私もストレッチを。クールダウンで、終わった後の筋肉をちょっと伸ばしてあげて。あとは梅干しが好きなので、差し入れしてくださった梅干しを食べて(笑)。

- 今舞台上に立っていて楽しいことは？

依田 いっぱいあります。やっぱり、お芝居している、踊りを踊っている、自分がやりたいことをやっていること、それにお客様が反応を返してくださることは、すごい楽しいですね。今でさえ、踊り終わってみんなでポーズが決まった時に、すごい感動するんですよ。だから千秋楽泣くんじゃないかと思って。

依田 眉山のお祭りに向かって徳島の人々が日々生活してるっていうことが描かれてるんですけど、同じように、座組みんなが一つの物に向かって頑張ってる。絶対感動するよね。

一鷹 なんかもう、朝早くから夜遅くまでみんな一緒にいるので家族みたいになってきてます。毎日会ってるし、会わないと変、みたいな。踊っている時とか、たまに名前を「杏奈！」とか呼ばれたり、声を掛け合っていて面白いんです。

- 楽しんで、いろいろ吸収してきてください！

依田・一鷹 はい！ありがとうございました！



高校生の役でも出演しています。依田さんは仲居さん役にも挑戦中。お寺の場面では一鷹さんの「ギャルメイク」にご注目！